

川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会（第１回）

日 時 平成２７年７月１７日（金）１０：００開会

場 所 川崎商工会議所 第５・６会議室

１ 開会

司会

定刻になりましたので、これより「平成２７年度第１回川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会」を開催いたします。

私は、本日司会を務めさせていただきます 川崎市総務局危機管理室の須田と申します。
よろしくお願いいたします。

本日の協議会につきましては、「公開」とさせていただきますこと、会議録を作成する関係上、写真撮影及び録音をとらせていただきますこと、また、議事録は、後日氏名も含めましてホームページで公開させていただきますので、併せて御了承いただきたいと思います。

また、携帯電話をお持ちの方は、電源をお切り頂くか、マナーモードの設定をお願いいたします。

次に、本日配付させて頂いております資料の確認をさせていただきます。

次第の下段に配付資料について記載がございますので、御確認いただき、不足等ございましたら、事務局までお申出ください。

議事に入る前に、今年度より座長が変更となりましたが、座長の川崎市総務局危機管理室長から御挨拶させていただきます。

座長

本日は、大変お忙しい中、平成２７年度川崎駅周辺帰宅困難者対策協議会に御出席いただきまして、ありがとうございます。４月に危機管理室長を命じられました平野でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

平成２３年３月１１日は、消防局の７階にありまして、国道１５号線の向かいのマンションの屋上部分が左右に大きく揺れ、コンビナートの方には何本も黒煙がたなびいておりまして、これは尋常ではないなと感じたことを記憶しております。

本日お集まりの皆様につきましても、何らかの震災の体験をお持ちだと思いますが、そういった経験がその後の制度作りや体制作りといったものに役に立ったものと思います。

将来におきましても、そういったものを引き継いでいただきたいと思います。

本協議会も震災後の平成２４年９月に発足して以来、川崎駅周辺の災害時における行動ルールや都市再生安全確保計画の策定に御尽力いただき、本年におきましても備蓄倉庫の

整備や3回目の帰宅困難者対策訓練を予定してございますので、後程これらにつきまして
も意見交換、情報提供も含めてやっていきたいと考えております。

顔の見える関係作りが地域防災力の向上に最も大切なことと考えておりますので、忌憚
のない御意見やなお一層の御指導・御鞭撻をいただきたいと考えております。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

司会

それでは、これより議事に入らせていただきます。

議事につきましては、平野座長に進行していただきます。

よろしくお願いいたします。

座長

それでは議事に入りたいと思います。

議事1 昨年度の取組について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 川崎区 三原担当係長

川崎区三原と申します。

よろしくお願いいたします。

資料1-1を御覧ください。

平成26年度 川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会についてでございます。

(以下、資料1-1に沿って説明)

座長

続きまして、幸区仲藤係長お願いします。

事務局 幸区 仲藤担当係長

幸区役所危機管理担当仲藤と申します。

お手元の資料の1-2を御覧ください。

訓練の概要について御説明いたします。

(資料1-2に沿って説明)

座長

三原係長と仲藤係長ありがとうございました。

議事1につきまして、皆様から御質問等ございましたらお願いします。

(意見等なし)

訓練というものは見せる訓練と膿を出す訓練とございまして、こういう課題が抽出され
ているということにつきまして、後で27年度の訓練についても説明がありますので、何
か御質問等ありましたら、後程伺いたいと思います。

それでは、議事２ 今年度の取組について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 危機管理室 須田担当課長

危機管理室の須田から説明させていただきます。

まず資料２－１といたしまして、平成２７年度川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会の取組の案でございます。

（以下、資料２－１～２－５に沿って説明）

座長

訓練担当の楠課長、何かありますか。

事務局 危機管理室 楠担当課長

訓練担当課長の楠と申します。

第１回の訓練から私が中心となって訓練計画を立てさせていただきましたが、皆様に協力をいただきまして、第２回まで実施することができました。

そして、今年度は第３回目ということで、これまでよりも更に内容を高いものにして実施をしていきたいと考えております。

鉄道各社の皆様が安全点検を行うような大地震の際は、どの駅も同じような状況になりますので、可能な限り市内のいろいろな所で同じ想定の下で訓練を同時実施していきたいと考えました。

その中で、市災害対策本部と区、区と区の連携、そして関係機関の皆様との連携をやってみて、どのような課題が抽出されるのか検討し、事後の対策に反映できればと考えております。

その際は、皆様の御意見・御協力を頂戴して進めてまいりたいと思いますので、御協力よろしくお願いいたします。

座長

ありがとうございました。

今年度の取組としての無線の通信訓練と１１月１８日の帰宅困難者の対策訓練について、訓練内容等に御質問がありましたらよろしくお願いいたします。

（意見等なし）

今まで訓練を実施してきた中で、ＪＲさん何か御要望等ありましたらお願いします。

ＪＲ東日本川崎駅助役 渡邊氏

ＪＲ川崎駅の渡邊と申します。

昨年は、自由通路を使いまして訓練を行いました。

その際、通行者の方の関心も非常に高かったのかなと思いました。

情報が少ないとか、要改善点もあったということですが、今回は人数を増やして実施するということですので、それに基づいて臨場感を高めてやっていきたいと思います。

座長

東西自由通路を使うということで、整理をするスタッフも少なく、いろいろと問題もあるのかなと思いますが、事故が起こると一番芳しくないと思います。

京急さんは、何かございますか。

京浜急行電鉄株式会社川崎駅 石井氏

京急川崎駅長の上田の代わりに出席しております、石井と申します。

今年は前回の3倍くらいの人数ということで、京急川崎は、あまり駅の改札前のスペースがさほどないので、一般のお客様とのすみ分けに注意して訓練に参加させていただければと思います。

座長

現在ちょうど、工事を行っている中、訓練で御協力賜りましたが、不審物が発見されたとの想定で、アゼリアさんとも共同で訓練をやっていただいたきました。やはり一般の方々が見ていたということがありまして、今年も一つ御協力をいただきたいと思います。

それと、職員のみではなかなか難しいので、各施設等については積極的に訓練に参加していただきたいと思います。

何か、他によろしいでしょうか。

(意見等なし)

後程、総括して御質問をお受けいたしますので、以上で議案2を終わります。

続いて、川崎アゼリア様、川崎区、幸区、危機管理室から、帰宅困難者対策の取組について情報提供がございます。

最初に、川崎アゼリア 施設整備部 持田(もちだ)参事 お願いいたします。

川崎アゼリア株式会社 施設整備部参事 持田氏

川崎アゼリアの関係について御説明させていただきます。

資料3でございます。

アゼリアでは、基本方針として誰もが安全で安心できる公共地下歩道の確保、それから店舗等への来街者の安全確保、災害時には帰宅困難者への確に情報提供するというところで考えております。

(以下、資料3に沿って説明)

座長

ありがとうございました。

何か御質問ございましたらお願いします。

アゼリアに接続している日航ホテルや近隣の商店街の猪熊会長、何か情報共有したいことがありましたらお願いします。

川崎駅広域商店街連合会会長 猪熊氏

広域商連の猪熊と申します。

いつもお世話になっております。

私も3. 11のことを思い出すわけでありますが、私はその時に日航ホテルの11階で会議をしておりました。

その時アゼリアさんでは、突然のことにもかかわらず、ものすごい対応をしたと思います。帰宅困難者に対しても、朝7時ぐらいまで素晴らしい対応をしていました。

川崎市の対応についても、少し遅くはなりましたが、毛布の配給等23時ぐらいまでにすべてそろったと聞いております。

そのようなことを踏まえ、川崎アゼリア、10店会、商店会の3者での帰宅困難者に対する対処の仕方を研修していくことが大切です。

特にアゼリアさんの体験は、書類ではなくて実際に起きたことですから、大変信ぴょう性の高いというか貴重なものだと思いますので、持田さんは大変だと思いますが、区民会議や商店会でもお話をいただいて再確認をするということが必要だと考えます。

座長

猪熊会長、本当にありがとうございます。

アゼリアさんについては、実体験をされているでしょうから、ノウハウを情報共有させていただければ大変ありがたいと思います。

他、ございませんでしょうか。

(意見等なし)

それでは、引き続きまして川崎区の取組についての報告をいたします。

川崎区の三原係長をお願いします。

事務局 川崎区 三原担当係長

川崎区役所三原と申します。

資料の4、川崎区の帰宅困難者対策について説明させていただきます。

(以下、資料4に沿って説明)

座長

三原係長ありがとうございました。

続きまして、幸区の実組について宮館課長お願いします。

幸区 危機管理担当 宮館担当課長

幸区危機管理担当の宮館と申します。

幸区の大規模災害発生時における帰宅困難者対策の実組について御説明させていただきます。

資料の5を御覧ください。

(以下、資料5に沿って説明)

座長

宮館課長ありがとうございました。

続きまして、危機管理室の須田課長からお願いします。

事務局 危機管理室 須田担当課長

それでは、資料6を御覧ください。

幸区堀川町跨道橋下備蓄倉庫の整備について御報告申し上げます。

(以下、資料6に沿って説明)

座長

ありがとうございました。

御質問等ございましたら、お願いします。

(意見等なし)

それでは、一時滞在施設の確保等について、危機管理室の須田課長お願いします。

事務局 危機管理室 須田担当課長

それでは、事務局から2点情報提供をさせていただきます。

特に資料は準備しておりませんので、口頭で説明させていただきます。

1点目は、一時滞在施設の確保の推進であります。

現在、川崎駅周辺には、10カ所の一時滞在施設を指定しており、その収容人数はおおよそ9千人弱という状況であります。

川崎駅周辺には、約1万9千人の帰宅困難者が想定されることを考えますと、50パーセント弱というところであります。

基準としては、3.3㎡に2人ということになっておりまして、発災時にはもう少し詰め込んで収容するということも考えられますけども、半分弱では少し心もとないわけであ

りまして、これが8割9割確保できれば、ちょっと無理をすれば収容可能となるのではと考えています。

是非、御理解をいただきまして、新たな働きかけや問題意識の共有、あるいは一歩進んで協力に手を挙げていただくということをお願いしたいと思います。

次に第2点目ではありますが、人材の育成確保という観点であります。

昨年度の訓練でも課題として抽出された内容であります。

現在の協議会に参加いただいているメンバーや訓練に参加いただいているメンバーは各組織においても防災時に核となる方々や責任者になる方々です。

したがって、発災時には行動ルールに定めた帰宅困難者対応にどれだけの方々が参加できるかという心配があります。

それぞれ各組織において共助の役割を果たすことができるように人材を育成し、要員を確保し、また、会員の拡充も図っていきたくと考えております。

その対策といたしまして、研修会の開催についても検討していくということを昨年度に述べられております。

この協議会のメンバーの方々も交代していることや、新しい支援要員を確保する必要もありますので、こういった観点から、今年11月の訓練の前に研修会を計画したいと思っております。

内容といたしましては、帰宅困難者対策全般的な事項、他都市の取組の事例の紹介、行動ルールの細部の説明、こういったもので約2時間程度で考えています。

参加者の日程調整等もあり、数回程度開催することも可能でありますので、そういったことを念頭に入れて、支援要員の拡大に御尽力いただければと思います。

今後、訓練の実施に向けた調整とともに研修会も具体化していきますので、こういった機会を最大限に活用していただければと思っております。

座長

ありがとうございました。

ただいまの危機管理室の報告に関して、何かありましたらお願いします。

全般的なところでは、何かありますでしょうか。

(意見等なし)

NTTさんには、訓練においても、特設公衆電話を設置していただいておりますが、今回の訓練でも御協力いただくわけなんですけれども、そのあたり御説明をいただければと思いますが、どうでしょうか。

NTT東日本株式会社 川崎支店 総括担当課長 平野氏

NTTの平野といいます、どうぞよろしくお願いいたします。

昨年、3カ所で特設公衆電話を設置させていただいておりますけれども、今年度も具体

的な場所が決まりましたら、御協力させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたしますします。

座長

何か特徴的なこと、輻輳してしまってどうしようもないような時でもつながりやすいとかの話はありますか。

NTT東日本株式会社 川崎支店 菅又氏

NTTの菅又と申します。

昨年度は、平野課長が御報告させていただいたとおり、3カ所で実施させていただきました。

171と言いまして、災害時の安否確認ができるシステムの説明等を行いました。

元々この特設公衆電話は、優先的にかかる仕組みになっておりまして、昔の緑色の公衆電話が優先的にかかるのと同じ仕組みでして、家庭の電話や携帯電話よりもつながりやすいようになっております。

座長

ありがとうございました。

災害時には情報が少ないというのが実体験でも訓練でもありましたし、アゼリアのサインージも含めて、情報提供の多重化というのが必要であると思います。

関東大震災では、流言というか噂話を基に誤った行動をとってしまったという例もございます。

しっかりとした情報を発信するよう行政としても考えていきたいと思っております。

特にございませんか。

(意見等なし)

それでは、次回の協議会につきましては、11月18日に川崎駅周辺帰宅困難者対策訓練の開催を予定してございますので、皆様におかれましては積極的に御参加いただき、川崎駅周辺の帰宅困難者対策の取組に御協力くださいますようお願い申し上げます。

以上ですべての議事を終了し、事務局にお返ししたいと思います。

よろしくお願いいたしますします。

事務局 危機管理室 須田担当課長

座長ありがとうございました。

それでは、予定の時刻よりも若干早いですけれども、以上をもちまして「川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会」を閉会とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。